

あすかかんぱにー

アスカカンパニー(株)

加東市河高4004番地 ☎0795-48-4323



公式サイト

プリンの特製容器や歯磨き粉のふたなどのプラスチック製品を造っているアスカカンパニー。社員の個性を尊重しながらやりがいを持って働けるよう成長の機会を用意しています。

- 🏆平成26年度 ひょうごNo.1ものづくり大賞 大賞
- 🏆平成30年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 🏆平成30年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
- 🏆ユースエール認定企業
- 🏆くるみん認定企業
- 🏆プラチナくるみん認定企業
- 🏆えるぼし認定企業

任されながら成長できる会社



「あ！コレ知ってる！」そんな製品を造っている会社です

営業本部プロジェクトマネジメント部の西脇千帆さんは入社7年目。カメラを使った製品チェックシステムを同業者に共有するセミ

ナー講師などの業務に携わっています。「初心者にも分かりやすくを心がけ、参加者からのセミナーを受講してよかったという声が増えるようになる」と言います。

入社6年目、管理本部HRグループの畑瀬美早紀さんは入社間もない頃から新卒学生向け会社説明会でのプレゼンの役を任せられました。「年齢が近い社員の生の声に触れてもらい、ありのままを理解してもらうように努めている」そうで、以前に比べ応募学生数が8倍に増えたそうです。2人に共通するのは、本人の適性を見ながら挑戦の機会を与えてもらい成長している点です。

転勤希望も二つ返事で承諾

2020年に結婚した西脇さんは夫の勤務地に合わせ大阪オフィスへの異動希望を上司に伝えたところ二つ返事で承諾されたとのこと。同年4月から大阪オフィスで従来と同じ業務を続けているそうで「個人の状況を尊重してもらえるので、もっと仕事を頑張ろうと思える」と言います。

同様に20年に結婚した畑瀬さんも、都合に合わせて有給休暇が取れるよう上司が気にかけてくれる点をありがたく思っているとのこと。「社長が一人ひとりの状況を把握して声をかけてくれる会社。今後は後輩を指導す



アスカで活躍する女性社員 畑瀬美早紀さん(左)と西脇千帆さん
る立場として気を使える先輩でいたい」と今後の抱負を語っています。

企業データ

■設立(創業)/1968年
■資本金/1億円

■売上高/36億円(2021年10月期)
■従業員数/257名

■平均年齢/36.1歳



姫路市飾磨区恵美酒213 錦ビル3階 ☎079-243-1777

エコリングは性別、世代を問わずだれもが働きやすい環境づくりを進めています。女性社員のチームが会社に要望を伝える場があり、毎年のように改善が積み重ねられています。

- 👑 ひょうごクリエイティブビジネスグランプリ2012
産業労働部長賞
- 👑 成長期待企業
- 👑 令和3年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
- 👑 えるぼし認定企業

女性社員チームの要望が制度に反映



「やりたいことをやらせてくれる会社です」と話す黒田由香さん

ブランド品を買い取り、再生して販売するリユース事業を柱とし、現在直営、フランチャイズ合わせて176店を展開しています。

2021年には、環境や従業員、コミュニティに配慮した公益性の高い企業に与えられる国際的な認証「B-Corp」を取得し、事業活動を通して社会課題を解決する取り組みを進めています。また、従業員満足度を高める活動として、より働きやすい環境づくりのための要望を話し合う女性社員のチームがあり、毎年会社に改善点を提案。子どもが小学校6年生になるまで時短勤務ができる制度や男性の育休制度、荷物を運ぶ負担を軽くするための段ボールの小型化などを実現させてきました。

若手社員を尊重する社風に感激

人事部で採用を担当する黒田由香さんは8年前に金融機関から転職した際「入社1年目ののに意見を尊重してくれ、やりたいことをやらせてくれたことに驚いた」と振り返ります。現在は小学生と保育園児の2人の子育て中で、子どもの送り迎えができるよう時短勤務制度を活用しています。「時短勤務でも負い目に感じることはないよう周囲がとても配慮してくれ、昨年は主任に昇進することができました」と笑顔を見せる黒田さん。「周りにはポジティブな社員ばかりでつられて前向きになれる。トライやるウィークなど地域に貢献できることをどんどん手がけていきたい」と意欲的に話しています。

もちろん女性だけではなく、男性社員の育休取得や声をあげた人の新規事業へのチャレンジに対しても会社として積極的にサポートしています。このように社員一人ひとりを大切に尊重してくれる社風だから、より一層仕事も頑張りたいと思えるそうです。



社員1人1人を大切に誰もが働きやすい環境づくりを進めています

企業データ

■設立（創業）／2001年
■資本金／1,000万円

■売上高／188億円（2021年度5月期）
■従業員数／409名

■平均年齢／34.0歳

こいずみせいま

小泉製麻(株)

神戸市灘区新在家南町1-2-1 ☎078-841-4141



公式サイト

2020年に創業130年を迎えた老舗企業だが女性社員による業務改善プロジェクトなどにより風通しの良い活気ある社風が生まれ、それが新商品を次々に生み出す原動力にもなっています。

👑令和元年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰

社会課題に応える新商品を次々に開発



130周年記念
キャラクター
「仔馬のこいちゃん」
も社員の発案で
誕生しました

1890年にジュート(黄麻)メーカーとして創業し、麻関連の包装資材などを製造してきました。近年は社会に必要とされる新商品の開発に注力。液体物流容器や農業用資材、緑化資材などで多彩な商品を送り出しています。

小泉康史社長が就任した2015年以降は社員がやりがいを持って働ける風土づくりに着手。コミュニケーションを活発にしながら、女性社員が働きやすい職場づくりを考える業務改善プロジェクトなどを推進してきました。

働きやすい仕組みを社員が提案、実現

同プロジェクトでは、一人ひとりの業務を見直して仕事を共有し合える体制を構築。子育て中で時短勤務を利用するCSセンターの小西裕子さんは、「繁忙期でも残業をせずに帰れるようになり、休暇も取りやすくなった」と話します。

社員の声が社内制度に反映されることも多くあります。経営戦略室の福山茜さんは、育休明けに遠方から通勤する同僚を見て「居住地の近くに拠点があればむだなく働けるのでは」とシェアオフィスサービスの利用を会社に提案、20年3月から導入されました。折からのコロナ禍で活用が進み、在宅勤務にもスムーズにつながられたそうです。チーフの桑

田知子さんは「システムなどを活用し、さらに働きやすい環境を作りたい」と話します。

「一歩踏み出せる環境を整え、社会と社員にとって良い会社に成長させたい」と小泉社長は次なるステップに期待しています。



人の移動を支える道路や鉄道の整備に活用される商品も

企業データ

■設立(創業)/1890年
■資本金/9,800万円

■売上高/79億9,262万円(2022年5月期)
■従業員数/157名

■平均年齢/42.2歳

こうぼうしゃ

(株)神防社

神戸市中央区東雲通3丁目4-3 ☎078-241-3505



公式サイト

消防設備の設計施工・点検事業を行う神防社は、「建設業が働きやすい業界であることを率先して示したい」と話し、だれもが自分のやりたいことを実践できる会社を目指しています。

- 👑成長期待企業
- 👑令和2年度 ひょうご仕事と生活のバランス表彰企業
- 👑令和2年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
- 👑くるみん認定企業
- 👑えるぼし認定企業

女性活躍で建設業のイメージ向上



建設業界で女性ももっと活躍できる会社づくりを目指す

スプリンクラーや消火栓など消防設備を建物の特性に合わせ設計から施工までを一貫して手がける消防設備工事業として2008年に創業。現在は、消火設備を設置した建物に義

務付けられている消防設備点検事業や消防防災用品の販売も手がけています。

「建設業のイメージを向上させたい」との思いから、女性社員を多数起用し、イメージ向上につなげています。2022年入社の倉田明利さんは企業PRのためSNSを用いた情報発信を担当し、自分の「得意」を生かした業務を任せていただいている」と笑顔を見せます。21年入社の藤井靖葉さんは、施工現場からでも各種申請が行えるようLINEによる自社システムを構築し、「建設業では遅れがちなワークライフバランスの向上に貢献したい」と話します。

だれもが主役になれる会社に

中途採用で21年2月に入社した営業担当の井内希さんは官公庁向けに各種消防用資機材販売をしており「自分が得意な危険物管理の知識も生かし、民間企業向けに設備点検の必要性を訴えていきたい」と話すなど、それぞれの得意分野を生かしながら働いています。

災害時に避難場所として活用できるウッドデッキ付き多目的スペースの販売など新規事業にも果敢にチャレンジしている神防社。過去には飲食に興味を持つ社員のため社内起業として2017年に飲食店「炭火酒場 STAND555 (ハハハ)」を開店。「だれもが



ウッドデッキ付き多目的スペース(左)・防災チップス(右)販売業主役になれる会社」を目指して同社のチャレンジはさらに続きます。

企業データ

■設立(創業)/2008年
■資本金/2,000万円

■売上高/13億8,113万円(2022年10月期)
■従業員数/80名

■平均年齢/34.0歳

さくらケーシーエス

(株)さくらケーシーエス

神戸市中央区播磨町21-1 ☎078-391-6571



公式サイト

システム開発を手がける同社では、従業員一人ひとりが個性・能力を最大限に発揮できる環境の整備に向けて、2015年にダイバーシティ推進室を設置。仕事と育児の両立支援制度の充実を図り、社内外への情報発信に努めています。

- 👑 令和2年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 👑 令和3年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
- 👑 くるみん認定企業
- 👑 プラチナくるみん認定企業

仕事も育児も全力で



岡本明子さん(左)と松井裕美子さん

同社では女性が働きやすい職場環境の整備に取り組んできました。2021年度の育児休業取得率は女性従業員が100%、男性従業員

も47%となっています。

会計・人事給与システムを導入支援するシステムエンジニアとして働くリーダーの松井祐美子さんには2歳の子どもがいます。育休から復帰後はフレックス型シフト勤務制度を活用してフルタイムで働き、保育園に預けている子どもの発熱など、急な対応は夫と協力し合い、「できる方がやる」方針で臨んでいます。職場の理解もあり「仕事、育児どちらも気持ちを切り替えながら全力で向き合っている」と充実した表情で話します。

部下の成長にやりがい感じ

岡本明子さんは、21年4月、経費精算システムを開発するグループのグループ長に昇格しました。以前は自分が担当する仕事をやり遂げることに集中していましたが、「グループ長としてメンバー一人ひとりの仕事のやり方や悩みに気を配るようになり、部下の成長を感じられることがうれしい」と言います。

2人の子どもを持つ岡本さんは、子どもとの向き合い方は部下や顧客の対応にも通じるものがあると実感しており、「価値観は時代とともに変わるもの。だからこそ自分がどうありたいかを考え、貫くことが大切。そうすれば後悔はない」と若い世代の人たちにアドバイスします。



育児休業などを特集した、ダイバーシティに関する社内報「D'ou shin」

企業データ

■設立(創業)/1969年

■売上高/247億円(2022年3月期)
[連結]

■平均年齢/43.7歳

■資本金/20億5,460万円

■従業員数/1,115名[連結]

さんそうでんき

三相電機(株)

姫路市青山北一丁目1番1号 ☎079-266-1200



公式サイト

モータ・ポンプメーカーの三相電機は、全員参加型の「改善オリンピック」や現場で働く女性の職場改善を目指すプロジェクトなどを通じ、従業員全員が働きやすい会社を目指しています。

- 🏆 令和元年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 🏆 令和元年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
- 🏆 くるみん認定企業
- 🏆 えるぼし認定企業

働きやすい職場づくり



田中課長（左）と楠担当課長

産業機器用モータや特注仕様ポンプなどを供給している三相電機。ポンプ技術を応用し、

魚の養殖用に酸素を液体に溶解する装置や、飲料用に海水を淡水化するユニット製品なども手掛けています。

同社では2013年、従業員全員が参加する「改善オリンピック」をスタート。2～3人のチームで毎月1件の改善を行い、それぞれの改善は「整理」「整頓」「清掃」「その他（アイデア、努力など）」の4項目で評価、全ての改善に点数をつけ、評価が分かるようにしています。評価されることで喜びを感じ、達成感を感じている従業員もいます。

現場で働く女性の声を生かし職場を改善

さらに現場で働く女性の職場改善のために5年前に発足したのが組立課の「女性改善プロジェクト」。立ち上げメンバーの楠敦子さんと田中夕妃さんは、同時期、女性管理職として課長補佐に昇進しました。プロジェクトでは、重量物を持ち上げやすくするための昇降機の導入や休憩室をフローリング仕様に変え、水槽や緑を置く環境改善などに取り組んでいます。「コミュニケーションをよくしていくことで率直な声を拾い上げ、さらに働きやすくなるようにしていきたい」と2人は話します。

「従業員全員が主役に」を掲げる同社。統括管理部長の榮永悟さんは「男女区別なく、



ミーティング中（女性改善プロジェクト）

従業員の声を生かす取り組みを続けながら、日々前進していく会社でありたい」と話しています。

企業データ

■設立（創業）／1957年
■資本金／8億9,300万円

■売上高／170億9,800万円（2022年3月期）
■従業員数／370名

■平均年齢／44.2歳



医薬品開発で躍進を遂げるJCRファーマ。開発、研究職を中心に女性社員が多く、全体でも39.4%を占めています。管理職に占める女性の割合も12.0%を占め、着実に上昇しています。

🏆 令和3年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
 🏆 平成30年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
 🏆 くるみん認定企業
 🏆 えるぼし認定企業

社内保育所の存在で安心して出産



JCRでは、ママ社員が多く活躍しており、仕事と家庭を両立できるよう頑張っています

遺伝子工学などのバイオ技術を用い、希少疾病・難病に特化した医薬品開発に取り組む同社。

5歳、2歳の2人の娘を持つメディカルライティングユニット係長の高棹直子さんは、新薬の臨床試験に関わる文書作成業務に関わっています。1人目の出産時は当時所属していた研究本部（神戸市西区）に社内保育所があり、「育休から復帰する時に保育園に入れるかどうかを心配せずに済み安心できた」と話します。

在宅勤務を併用しながら仕事と育児を両立

4年前に異動した開発本部では「年齢を問わず、何でも言い合える風通しのいい社風」を感じています。2020年6月に2人目の出産後に取得した育休から復帰後は、コロナ禍であったこともあり週5日中4日の在宅勤務を行っていました。「通勤時間の節約になり、仕事も集中できる」とのこと。「同僚も子育て中の母親が多く働きやすい。上司もその1人で私にとっては憧れの働き方」と話します。同僚の男性社員の中にも育休を取得する動きが増えているそうで、人事企画部の柏原理沙さんは「さらに男性社員の育休取得を促すこ

とで、より理解し合える働きやすい風土をつくっていきたい」と話しています。



キッズランドでは季節のイベントなども実施しており、お子さんを安心して預けられる環境があります

企業データ

■設立（創業）／1975年
 ■資本金／90億6,186万円

■売上高／510億82万円（2022年3月期）
 ■従業員数／797名

■平均年齢／40.9歳



トーホーグループでは男女分け隔てなく働きやすい環境を整備しています。女性のリーダー、管理職も着実に増え、責任とやりがいを感じながら自分らしく働いています。

👑平成30年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
👑平成30年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
👑くるみん認定企業

早くから女性活躍支援に注力



神吉里奈さん(中央)がリーダーを務めるトーホーフードサービス販売促進部メニュー支援チームのメンバー

ホテルやレストランなどの外食産業に業務用食材を販売する、業務用食品卸のリーディングカンパニーとして37都道府県、海外3カ国に展開するほか、食品スーパー「トーホー

ストア」の運営や品質管理サービスなど食のあらゆるシーンを支えています。トーホーグループでは多くの女性が働いており、2005年からは「女性の活躍なくしてトーホーグループの成長なし」をスローガンに、女性活躍を支援しています。14年には昇格に制限があった一般職採用を廃止し総合職に一本化したほか、キャリア意識を醸成するためリーダー管理職候補向けの研修も実施。現在は15年度と比較して女性の管理職・リーダーが約2.5倍、リーダーの候補者層が約2倍まで増えています。

理解あるメンバーに囲まれて

グループ会社、トーホーフードサービスの販売促進部メニュー支援チームでチームリーダーを務める神吉里奈さんもその一人。3年前、産休から復帰して半年後にリーダーを任されました。メンバー5人はすべて女性で、飲食店に対し同社の商品を使ったメニューを提案しています。メンバーからは「やってみたいことを受け止めてくれる」と全幅の信頼を寄せられ、神吉さんも「チームで考えた提案が採用されたときがうれしい」と言います。子どもが小さいため時短制度を活用しながらの勤務ですが、会社の支援や理解してくれているメンバーに助けられながら自分らしく働

ける環境で「想いを形にできる」現在の仕事にやりがいを感じています。



食品メーカーの商品だけでなく、トーホーグループオリジナルのプライベートブランド商品も多数開発しています

企業データ

■設立(創業)/1947年
■資本金/53億4,477万円

■売上高/1,885億6,700万円(2022年1月期)
■従業員数/4,738名

■平均年齢/43.8歳

にほんいーらいりりー

日本イーライリリー(株)

神戸市中央区磯上通5丁目1番28号 LILLY PLAZA ONE BLDG. ☎078-242-9000



公式サイト

日本イーライリリーでは、だれもが自分の目指すキャリアに挑み、それを周囲が応援する風土が浸透しており、管理職に占める女性の割合は約30%と製薬業界においてトップレベルです。

👑令和元年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
👑くるみん認定企業

早くから女性活躍支援に注力



日本イーライリリー本社（神戸市中央区）外観

2004年から女性活躍推進の取り組みを本格化し、男女ともに活用できる日数制限のな

い在宅勤務制度や豊富に選べる育児・介護短時間勤務制度を導入する一方、リーダー育成のための研修制度の充実を図ってきました。また、上司の理解が重要との考えから、「入社して10年間に女性がキャリアやライフイベントでどのようなことに直面し悩みを抱えるのか、周りはどんなサポートができるのかといった情報をロードマップで示し、相談しやすい環境を整えています」と人事部ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン推進部長の安原菜津子さん。女性管理職の比率は現在約30%であり、さらに高みを目指しています。

理解あるメンバーと、相談できる環境で

出産を経て21年1月に職場復帰した開発発本部臨床薬物動態担当の三村花華さんは、働きながらもできるだけ娘のそばにいてあげたいという思いから、周囲の協力も借り5～9時、13～17時を勤務にあてています。「当初はこんな変則的な働き方に理解が得られるだろうか」と不安でしたが、先輩ママ社員から「気にすることはない」と言われ吹っ切れたそうです。三村さんの出席が必要な会議は午後に設定をしてもらい、他の時間は準備や詳細検討などチームで進めるため柔軟に活用しています。また将来の自身が描くキャリアについても、上司から「ぜひチャレンジして



三村花華さん（左）と安原菜津子さん

みるべき」と応援の言葉をもらい、さらなる自身の成長と社会への貢献に向け日々奮闘しています。

企業データ

■設立（創業）／1975年

■売上高／2,476億円（2021年12月期）

■平均年齢／40歳

■資本金／127億7,250万円

■従業員数／約2,700名



同社では経営の中枢と位置付ける総務部門で働く社員16人のうち14人を女性が占めています。長い目でキャリアを積んでもらうためにそれぞれの良さを生かせる人材配置に力を入れています。

🏆平成30年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
🏆令和3年度 ひょうご女性の活躍企業表彰

取引先に感動を与える会社に



それぞれのよさを伸ばせる場所で、やりがいを持ちながら仕事に取り組んでいます

生活に欠かせない電気や空調設備などの設計から生産技術、品質技術、システム開発まで、ものづくりのはじめからおわりまでを技術力で支えている阪技。「ただ依頼された仕事をこなすだけではなく、取引先に感動を与えられる会社に」と後藤純次社長。そのためにその人の良さを生かせる人材の配置に注力し、「自分自身で考え、行動できる」人材の育成に努めています。

それぞれの良さを生かして社員が輝けるように

新入社員は4～5カ月程度の研修を経た後に、現場で2次研修に臨み、それぞれの良さを伸ばせる場所を見極めたうえで配属が決まります。入社3年目の四谷成子さんは人事に関するAI開発を行っています。Python(パイソン)によるデータ分析や予測に積極的に挑戦しており、「得意な数学を存分に生かしている」と感じているそうです。また、新入社員研修にも携わっており、一人一人の良さを見いだす取り組みにも力を入れています。入社2年目の鏡田さよさんは、採用や広報などの企画を担当し「好きな考えることを仕事にでき、やりがいを感じる」と話します。イラストが得意な入社1年目の馬庭季香さんと連携し、女性の活躍、SDGsへの取り組みなど

の会社の魅力や、今後の展望を一目で分かるよう表現し、社内外に発信しています。「出産後、復職し生き生きと働く先輩方をお手本に、長く働き続けたい」と三人は長期的なキャリアビジョンを描いています。



人の育成、男女問わず働きやすい環境づくりにより、多様な人材が増え、イノベーションへつながっています

企業データ

■設立(創業)/1981年
■資本金/1,000万円

■売上高/16億円(2021年12月期)
■従業員数/242名

■平均年齢/36.7歳

あらいぐみ

(株)新井組

公式サイト

西宮市池田町12番20号 ☎0798-26-3111

社員数350人規模の中堅ゼネコン（総合建設業）として、建築、土木の仕事を全国で手がけている新井組。社員、協力会社の横のつながりを大切に「内容で日本一」の会社を目指しています。

内容において日本一の会社を目指す



同社本社屋上のテラスで、馬場公勝社長(左)に話を聞く
神戸大学2年の亀井麻由佳さん

一建設業としてどのような事業を展開しているのでしょうか。

78年の歴史を持ち、ピーク時には2千人の社員で売上高2千億円を記録しましたが、建設不況のあおりで2008年に民事再生手続きの申し立てを行いました。そこから事業を立て直し、現在は兵庫、東京、名古屋の3拠点で建築、土木工事をバランスよく手がけています。ここ数年は毎年20数名の新卒社員を採用しており、社員350人弱で250億円を売り上げています。

一SDGsの取組みに力を入れているそうなんです。

「新井組2030ビジョン」では、2030年の持続可能な社会の実現に向けて、社会の問題に事業を通じて解決することで貢献し、持続

的成長の実現を目指しています。SDGsの取組みの一環として、環境を保全しながらCO2排出削減につながる発電の手法として、ため池を活用した太陽光発電所の運営にも取り組んでいます。

一どのような会社を目指していますか。

当社は自由闊達な社風で、私自身社長室の扉も開けっ放しにし、社員とのコミュニケーションを大切にしています。屋上には、バスケットボールやプロジェクターを投影しスポーツ観戦も楽しめる施設も整備しました。社員だけでなく一緒に仕事をする協力業者の方たちとのつながりも大切に、「新井組で働くことができて良かった」「新井組と仕事ができる良かった」と言っていたけりような、「内容において日本一」の会社になることが目標です。

神戸大学

亀井 麻由佳さん

Check 学生が
チェック!

「内容において日本一の会社になる」という馬場社長の言葉が印象深い。人とのつながりや社員の方一人ひとりのことを大事にしておられる会社であり、魅力的であった。SDGsについての資料を会社内で作成し、社員に浸透させようとするなど、仕事への誇りやこだわりを感じた。

企業データ

■設立(創業)/1944年
(創業1902年)
■資本金/5億円

■売上高/263億3,088万円(2021年12月期)
■従業員数/350名

■平均年齢/45.5歳



コーヒー飲料や業務用食材の輸出入などを手がける食品商社。コーヒーから、業務用食材へ幅を広げ、社会課題の解決にも取り組んでいる。

コーヒー核に課題解決



石脇智広社長(左)に話を聞く関西大3年の糟谷有香莉さん

一事業内容は。

「コーヒーの生豆や紅茶の茶葉を産地から輸入したり、飲食店や量販店向け業務用食材の輸入販売や日本食の輸出を行ったりしています。営業担当者が品質管理をしながら、販売にまで関わることで、迅速に現地の情報を顧客に伝えることができます」

一課題は。

「数年後にお客さまとなる若い世代は、コーヒーチェーンが扱う甘いお菓子のようなコーヒーしか知らない。ひきたてのコーヒーの香りと味をぜひ知ってほしいと思います。一般消費者向けの商品が少なく、知名度が低いのも悩みです」

一社会課題の解決にも積極的に取り組んでいる。

「子ども食堂に食材を提供したり、産地の

ブラジルで現地の業者と一緒に障害者を雇用したりしています。コーヒーを核にした社会問題の解決を進めることで、食品業界以外にも、社会課題を解決する際に声がかかるような存在になりたいですね」

「コーヒーを抽出する際に、大量に出るかすを固形燃料にしました。これまで産業廃棄物として燃やしていたものを再利用するため、二酸化炭素の排出が実質ゼロになる。2021年末にはこの燃料で焙煎（ばいせん）した『地球にやさしいモカブレンド』を発売しています」

一求める人材は。

「子どもが小学校を卒業するまで育児時短を取得できる制度など、長く働ける環境を整えています。ただ、条件面を重視するのではなく、企業の姿勢に共感してくれる人に来てほしい」（まとめ・塩津あかね）

関西大学

糟谷 有香莉さん

Check 学生がチェック!

コーヒーや加工食品など、知識や経験を生かし食に関する様々な事業を展開、さらにSDGsへの取り組みも積極的に行っている企業。社長自らが丁寧にコーヒーを淹れてくださったことが印象的であり、コーヒーや環境問題に対する熱い姿勢に感銘を受けた。

企業データ

■設立(創業)/1951年
(創業1906年)

■資本金/6億2,230万円

■売上高/467億2,900万円(2022年3月期)

■従業員数/240名

■平均年齢/42.1歳

ういる

(株)ウィル

宝塚市逆瀬川1-14-39 ☎0797-74-7272



公式サイト

創業以来、「不動産業界のイメージを変えたい」との思いから、顧客本位のサービスで不動産業界に新風を送り込んできました。お互いをよく知ることを大切にす
る社風でのびのびと働く社員が成長を支えています。

不動産業界のイメージを変える



坂根勝幸社長(右)に話を聞く甲南女子大学2年の安尾愛梨さん

—「不動産業界のイメージを変えたい」とはどういうことでしょうか。

「住まい」という一生に一度かも知れない高価なお買い物をお手伝いする尊い仕事であるにもかかわらず、1993年の創業当時の業界は、近寄りたがたい、なんだか怖そう、という印象をもたれていて、良いイメージで見られていませんでした。サービスを顧客視点でとらえ直し、平日の家探しは仲介手数料30%キャッシュバック、など業界のタブーに次々に挑んできました。だれもが活躍できる会社を目指してきた結果、女性社員比率は約56%（パート含む、22年6月30日現在）を占め、育児休暇から戻って営業所長をしている女性社員もいます。現在は、不動産売買に加え、リフォームやファイナンシャルプランニングを一貫して行うワンストップサービスで、中古住宅を美しくよみがえらせるリノ

ベーション事業にも力を入れています。

—HPには社員の皆さんの笑顔が載っていて驚きました。

よく遊んで、よく仕事をする、をモットーに家族的な社風が根付いています。社員表彰も兼ねた年4回の社員旅行を実施しているほか、内定者を招いて行う運動会やBBQ大会も毎年行っています。社内にはバーもありコミュニケーションを深める場になっています。業種を問わず「この会社で働きたい」という学生が集まってきます。

—どのような基準で採用しているのでしょうか。

お客様は「誠実な人」から買いたいと思うものです。明文化はしていませんがいわゆる「ええやつ」を求めています。うそをつかない、明るく元気、など人として当たり前のことを大切にしています。業界日本一を目指すことがおのずと不動産業界を変えることにつながると思っています。

甲南女子大学

安尾 愛梨さん

Check 学生が
チェック!

家族のような信頼関係を築き、社員全員が仲の良い会社であるという印象。管理職の4割が女性ということもあり、男女が平等に活躍している企業だと感じた。お客様だけでなく、社員も大切にする会社を全国の皆様に知ってもらいたいと思った。

企業データ

■設立（創業）／創業1993年
■資本金／2億7,778万円

■売上高／86億8,100万円（2021年12月期）
■従業員数／282名

■平均年齢／29.8歳
[正社員のみ]



真珠の生産から加工、販売まで一貫して手がける。国産アコヤ真珠のうち品質の高い一級品の約4割を取り扱うなどシェアトップを誇り、長年、業界をけん引してきた。

愛着持つ人増やしたい



大月康史取締役(左)に話を聞く武庫川女子大3年の穴吹実愛さん

一若者のジュエリー離れをどう見るか。

「日本のジュエリー文化は、資産的価値の面からも生活と密接な関係にあった欧米に比べて歴史が浅く、普段から身に着ける文化はあまり定着していません。現在流行しているファストファッションとは感覚的に合わないのでは、という危惧もあります」

「日本では着けて行く場も少ない。親の影響も大きいと思います。今の40代くらいからは、憧れから真珠を身に着けたい、という感覚も薄れている。ジュエリーへの興味や欲求は人によっても違い、こちら側からのアプローチも必要です」

一アプローチの方法は。

「成人式や冠婚葬祭など人生の節目をきっかけに、真珠を着けてみようかなと思ってもらえれば。簡単に手に入るというよりは、憧れの商品であってほしい。ターゲットは、

20代後半くらいからをイメージしています。真珠のイメージを大切に、学生の皆さんに、10年後に欲しいと思ってもらえるような商品づくりをしています」

一業界のけん引役としての役割も重要だ。

「真珠は養殖から商品化まで最低3年以上かかり、自然相手なので生産の調整も難しい。常にリスクがあります。生産者が真珠をつくり続けられるよう、需要が少ないときは買い支えるなどして、需給を安定させるのがわれわれの役割です。需要は圧倒的に海外が多いですが、国内でも憧れや愛着を持つ人がもっと増えてほしいですね」(まとも・赤松沙和)

武庫川女子大学

穴吹 実愛さん

Check 学生がチェック!

販売だけでなく生産から加工などといった一貫体制を取っている会社。「お客様に憧れと良い製品をお届けし続けるという姿勢を取り続ける」という強い信念に非常に感銘を受けた。

企業データ

■設立(創業)/1930年

■売上高/101億4,500万円(2021年11月期)

■平均年齢/47.0歳

■資本金/1億円

■従業員数/271名

せいかつきょうどうくみあい こーぷこうべ

生活協同組合 コープこうべ

神戸市東灘区住吉本町1丁目3番19号 ☎078-856-1321



公式サイト

組合員約173万人と、日本最大規模を誇る生活協同組合。宅配と店舗を事業の2本柱とし、福祉や環境保全といった社会活動にも組合員とともに取り組んでいる。

- 🏆 平成22年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 🏆 平成28年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
- 🏆 くるみん認定企業
- 🏆 えるぼし認定企業
- 🏆 平成9年度 兵庫県環境にやさしい事業者賞

暮らしの課題を解決



岩山利久組合長(右)に話を聞く武庫川女子大3年の岩崎遥さん

一昨年、創立100周年を迎えた。

「第1次世界大戦後の不況下、『適正な価格で品質の良いものを手に入れたい』という消費者の切実な願いを実現しようと、社会運動家の賀川豊彦の指導で誕生した二つの購買組合が前身です。お互いさまの精神で、暮らしの課題にも向き合う組織として、事業で収益を得ながら規模を大きくしてきました」

一暮らしの課題には、どのように向き合う。

「例えば、無料送迎車『買いもん行こカー』の運行。運転免許の返納などで自宅にこもりがちな高齢者を店舗に送迎すると、買い物で元気になり、交流も生まれます。地元企業の協賛も得ました。買い物で歩行訓練する『ショッピングリハビリ』の試行など、福祉との連携も模索しています」

一今、重視するテーマは。

「『多世代交流』です。交流を通じて互いの困りごとを共有することが、助け合いやボランティア活動を促し、命を守ることにもつながります。今までは店舗や、宅配の協同購入がその機会を提供していました。暮らしの多様化で、交流の形を考え直す必要があり、店舗以外にも交流の拠点を増やそうとしています。コープだからできることに原資を投入し、社会課題の解決でリーダーシップを果たしたいと考えます」

一求める人材は。

「地域や暮らしの課題解決に向き合い、挑戦する意欲や向上心を絶やさず頑張ってくれる人です」(まとめ・広岡磨璃)

武庫川女子大学
岩崎 遥さんCheck 学生が
チェック!

「多世代交流」という言葉が印象的であった。高齢者への買い物サポートや子育て支援などの地域との交流を積極的に行う活動は、近隣に住む人のことを知ることが少なくなった現在においてとても重要なことだと感じた。

企業データ

■設立(創業)/1921年

■供給高/2,471億400万円(2022年3月期)

■平均年齢/46.5歳

■出資金/367億8,000万円

■職員数/9,632名

と一たるぶれいんけあ

(株)トータルブレインケア

神戸市中央区港島中町4-1-1 ☎078-335-8467



公式サイト

「脳体カトレーナー」は認知症の早期予防につながる客観的な評価指標として普及が進んでいる。48歳で起業した社長の河越眞介さんは「失敗の積み重ねにしか成功はない」と言う

🏆ひょうこクリエイティブビジネスグランプリ2019 兵庫県知事賞

命をかけてやりきる思いで認知症のテーマに取り組む



河越眞介社長(左)に話を聞く神戸大学4年生の小原健人さん

一「脳体カトレーナー」とは

12のテストを通じて、一人ひとりの認知機能の状態を短時間で「見える化」することができます。日本では認知症の予防が非常に大きなテーマですが、その前提には客観的な評価指標が必要です。予防の研究として、健診として多くの大学や企業、介護施設などに採用され、認知用の予防、企業の健康経営に貢献しています。「やりたいこと」をいつまでも「できる」を後押ししたいと考えています。

一起業は勇気のいること。経緯を教えてください。

学生時代のアルバイトで提案が採用される経験を通じ、社会課題を見つけトライアンドエラーしながら事業を育てる喜びを得ました。会社員を経て家業の材木屋を工務店に育

てたのですがリーマンショックで行き詰まりました。その後、認知症のテーマに出会いました。会いたい人の講演に向かい、鋭い質問をし、真っ先に名刺交換に並び、すぐにメールをして会い、人脈を広げていきました。

一スタートアップの醍醐味は。

自分の思い描く世界を完成させるために足りないピースが埋まっていき、思いもよぬピースが出てきて世界が広がるのが楽しいですね。自分が命をかけてやり切るというテーマに出会えないなら起業すべきではありません。でないと関わる人を裏切ることになりますから。先人の知恵をイノベーションで革新し新たな価値を生み出す喜びを味わってほしいと思います。

神戸大学

小原 健人さん

Check 学生が
チェック!

社長の、命をかける覚悟を持って、社会課題を解決する姿勢に影響を受けた。高齢化が進む日本で、脳の認知機能を可視化する製品は必要であり、今後さらに普及することで生き生きと暮らせる人が増えてほしいと思った。

企業データ

■設立(創業)/2015年
■資本金/1億8,922万円

■売上高/9,200万円(2021年10月期)
■従業員数/14名

■平均年齢/44.0歳

にほんてくのろじーそりゅーしょん

日本テクノロジーソリューション(株)

神戸市中央区港島南町7-2-8 ☎078-304-4439



公式サイト

もとはブラウン管の検査機メーカーだが、薄型テレビの普及で苦境に陥り、転身した。食品や化粧品などのフィルム包装機で着実にシェアを拡大し、企業や商品のPR映像の制作など新事業を積極展開する。

包装事業でシェア拡大



岡田耕治社長(左)に話を聞く関西学院大3年の宮澤北斗さん

一長くブラウン管の検査機を製造していた。

「よかったのは社長に就いた1999年ごろまで。2001年から一気に低迷しました。プラズマ画面用の検査機を受注したが、中国や韓国、台湾のパワーがすごく、勝負したら負けると思いました。戦略とは『戦いを省略すること』と、違う市場を探しました」

一01年、フィルム包装機、トルネードを発売した。

「実は、多くの商品は包装を変えるだけで売り上げを増やせます。包装事業なら、資産と外部環境の変化を掛け合わせれば、できると思ったんです。電機業界以外の市場を開拓してみたい思いもありました」

「まず神戸・ポートアイランドで01年9月にあった展示会『国際フロンティア産業メッ

セ』に出展を申し込みました。開催までの3カ月で完成させ、出展に間に合わせました。これまでに、販売台数は累計千台を超えています」

一企業や商品のPR映像の制作も手がける。

「製品や技術のことは、メーカーが説明した方が伝わると思い、08年から始めました。こだわるのは、いかに魅力的に発信するか。新事業は、問題発見から解決までお手伝いするという理念の下で始めます。目指すのは、幸せのスパイラルを提供できる企業です」

一人材育成の考え方は。

「課題や問題に挑戦し、解決できる人材を育てたい。それができればAI(人工知能)も怖くないはずです」(まとめ・大盛周平)

関西学院大学

宮澤 北斗さん

Check 学生が
チェック!

時代の潮流を読み、常に成長を続けていくために「変化」を恐れない前向きな企業であると感じた。包装技術だけでなく、コンサルティングや放送分野など多岐に渡る事業に挑戦するこの会社の未来に期待せずにはいられない。

企業データ

■設立(創業)/1981年

■売上高/7億1,400万円(2022年9月期)

■平均年齢/31.0歳

■資本金/5,000万円

■従業員数/37名



「神戸の元気はミナトから！」を合言葉に旅客船「boh boh KOBE号」の運航を始めさまざまな事業を展開しています。また、文化やスポーツの支援にも力を入れ神戸を盛り上げています。

神戸の元気をミナトから発信



渡辺真二社長(右)に話を聞く甲南女子大学2年の谷神杏歌さん

一どのような事業を行っているのでしょうか。

1885年の創業で、神戸港の繁栄の移り変わりとともに事業を展開してきました。現在は、船を岸壁につなぎ、離す繫離船業、タグボート（けいりせん）を使って船舶を押したり引いたりする引船業（ひきふね）、そして旅客船「boh boh KOBE号」で神戸港をクルージングする旅客船業を行っています。また、ミナトを連想させるマリニルックが特徴の「boh boh」グッズを販売しているほか、神戸港ウォーターフロントエリアのメリケンパーク・震災メモリアルパーク・中突堤中央ターミナル（かもめりあ）の指定管理業者としてイベントなどの企画・運営も行っています。

一山の見える場所で育ったのですが、海の仕事も面白そうだと感じました。

旅客船は神戸港をめぐるだけでなく、金曜日の夜には船上レストランにしてお食事やア

ルコールを楽しめるイベント「Apero hour」を開催しています。「boh boh KOBE号」の乗組員の多くが女性です。また、メリケンパークでは6千人規模の人が集まる野外イベントも実施しました。どうすれば人が集まり、あきらめないかといったアイデアは、仕事を面白がること、一つひとつのことに真心を込めることが大切だと考えています。

一事業を行う上で大切にしていることは何ですか。

弦楽オーケストラ「スーパースtringスコーベ（SSK）」のプロデュース、女子ラグビークラブチーム「神戸ファストジャイロ」の支援をはじめ神戸の文化やスポーツの振興にも注力しています。事業を通して「神戸の元気はミナトから!!」そして「神戸の元気を届けたい」という思いが根底にあります。

甲南女子大学

谷神 杏歌さん

Check 学生がチェック!

130年以上前から、神戸の海の安全を保ち続けてきていると知りました。「神戸をもっと元気にしたい」という揺るぎない信念のもと、文化やスポーツ支援まで率先して行っています。神戸の良さを生かしつつ、斬新で、面白いことに前向きに取り組む姿勢が非常に印象的でした。これからの神戸を港から活気づかせていかれるんだと感じました。

企業データ

■設立（創業）／1885年
■資本金／1億3,000万円

■売上高／37億2,008万円（2021年8月期）
■従業員数／184名

■平均年齢／45.0歳

ぶいくっく

(株)ブイクック



公式サイト

神戸市中央区磯上町4丁目1-14 三宮スカイビル7F ☎080-1981-0050

肉や卵などの動物性食品を食べないヴィーガン生活を高校3年生の頃から続ける社長の工藤柊さんは「誰もがヴィーガンを簡単に始め、楽しく続けられる社会」を目指し事業を展開している。

誰もがヴィーガンを簡単に始められる社会を目指す



工藤柊社長に(左)に話を聞く神戸大学4年の木下かりんさん

—これまでの経緯は。

動物倫理、環境の観点からヴィーガン生活を始め、大学進学後は生協食堂に働きかけてヴィーガンメニューを採り入れてもらいました。その後NPOを設立し、ヴィーガンレシピの投稿サイト「ブイクック」を開設しました。20年4月に会社を設立し、レシピ投稿サイトや食材が購入できるモールを展開しています。

—起業するのは怖くなかったですか。

大学時代、周囲に起業をしている学生が多くいたので自分にもできそうだと感じました。しばらくは別の仕事で収入を得ながらできる範囲で取り組んでいましたが、より良いサービスをできるだけ早く、多くの人にと考え、ファンドから出資を受けました。今はまだサービスを0から積み上げている段階ですが、その後の大きな飛躍を見据えています。

—どんな人を採用したいですか。

のどが渇いていると言われた時、ただ水を差しだせばよいのでしょうか。もしかしたら甘い飲み物を欲しているかもしれないし、日差しのないところに移すのが適切かもしれません。相手の置かれている環境や背景を理解して、行動を起こせる人を求めています。

—モチベーションは。

受験勉強と同じで、本を読んだり人に教わったりするうちに、できなかったことができるようになるところがおもしろく、さらにそのことで喜んでくれる人がいることがモチベーションになっています。皆さんも身の回りで課題と感じていることがあれば、行動を起こしてみてください。少しずつできることが増えていくおもしろさと、その成果がどれかの役に立つことのやりがいを感じてほしいです。

神戸大学

木下かりんさん

Check 学生がチェック!

理想の社会をつくるために日々邁進しておられることが感じ取れ、純粋に憧れを抱いた。日本社会に革新を起こし、より多くの人々が生きやすくなる社会をつくっていくブイクック社に今後も注目したい。

企業データ

■設立(創業)/2020年

■売上高/非公開

■平均年齢/24.0歳

■資本金/2,400万円

■従業員数/25名



兵庫、大阪で持ち帰り弁当店をフランチャイズを含め計12店舗展開する。手づくりで豊富なメニューをそろえ、持続可能な開発目標(SDGs)の取り組みにも力を入れる。

地域に根差し、食を提供



重森貴弘社長(左)に話を聞く兵庫県立大3年の玉井伸司さん

一だし巻きと唐揚げが人気ですね。

「だし巻きは焼いてすぐ急速冷却器に入れ、うまみを閉じ込めます。保存期間を延ばせ、素早く提供できています。唐揚げは、好きな人が多く、味にもこだわっています。二つを使う『だしから弁当』は売り上げ上位の人気商品です」

一新型コロナウイルス禍の影響は。

「コロナ禍で多くの飲食店が持ち帰りや配達を始めました。競争が増え、弁当の配達件数は減りました。何でも好きなものが頼める時代。原材料や容器代が上がっても、なかなか売価は変えられず、持ち帰りの業態は厳しいですね」

一対策は。

「新メニューの開発や新たな売り方、人員配置の最適化などできることを模索していま

す。ビジネスホテルや障害者の就労支援施設に冷凍の弁当を提供する分野を伸ばしたい。高校の学食などに冷凍弁当の自販機設置も考えています。お昼だけでなく、スイーツも販売しようと商品開発や新たな販売方法を検討中です」

一社会課題の解決にも取り組む。

「グループ会社で障害者就労継続支援A型事業所を運営しています。地域に根差し、さまざまな方に働く場所や食を提供していきたい。弁当のご飯を減らしたい人のご飯を、地域の子ども食堂などに提供する『お福分け制度』も設けています。残飯が減り必要な人に届けられる。いろいろな飲食店に広がればうれしいです」(まとめ・赤松沙和)

兵庫県立大学

玉井 伸司さん

Check 学生がチェック!

気さくで話しやすい社長とパートがつくり出す職場の雰囲気はとても明るく感じた。時代の変化に対応しながら、新たな課題に向き合い、新商品開発へとつなげる積極的な姿勢が印象に残った。

企業データ

■設立(創業)/2000年

■売上高/非公開

■平均年齢/33.0歳

■資本金/1,500万円

■従業員数/50名

あこうかせい

赤穂化成(株)

赤穂市坂越329番地 ☎0791-48-1111



公式サイト

赤穂化成は、江戸時代から続く製塩技術を継承し、総合ミネラルメーカーとして食塩から健康食品、食品添加物、医薬品原料、工業用原料に至るまで多彩な商品を生産しています。

👑令和元年度 ひょうごオンリーワン企業

総合ミネラルメーカーとして発展



2022年度の入社式

江戸時代より塩田による日本の塩づくりを先導してきた赤穂地域。1971年には塩田による製塩は廃止されましたが、赤穂東浜塩田の流れをくむ赤穂化成は、自然塩運動に応える形で「赤穂の天塩(あましお)」を商品化。以降、高知県室戸沖で採取した「海洋深層水」

が、血液サラサラ飲料として注目され、大ヒット。その後もおいしく塩分補給できる「熱中対策水」など社会に役立つ商品を開発してきました。

また、ミネラルの技術を生かした医薬品原料のほか、食品添加物や特殊黒色顔料、豆腐の凝固剤等をラインアップ。「様々な分野の商品があるため、不況に強いというのが特長。思わぬ所で自分たちの商品が使われていたり、お客様に“ありがとう”という言葉をかけていただけたりと、社会に役立っている実感がやりがいにつながります。」と専務取締役の池上幸志さん。

チャレンジでき、風通しの良い社風

熱中対策水や特殊黒色顔料をはじめ同社のヒット商品の多くは社員からの発案で生まれたもの。だれもがアイデアを出し、それを尊重する風土が社内に根付き、希望者は誰でも参加できる英語研修が週2回行われるなど、挑戦を促す場も用意されています。

新入社員歓迎ボウリング大会や秋のスポーツ大会、10年ごとの節目に行われる海外旅行などの行事も多く、風通しの良い社風が築かれています。池上さんは「先入観にとらわ

れない発想で新しいことにチャレンジしてほしい」と呼び掛けています。



汗に近い成分を補給できる熱中対策水

企業データ

■設立(創業)/1971年
■資本金/3,000万円

■売上高/100億円以上(2022年3月期)
[AKOグループ連結]
■従業員数/203名

■平均年齢/41.0歳

あわじめんぎょう

淡路麺業(株)

淡路市生穂新島9番15号 ☎0799-64-0811



公式サイト

淡路麺業は、2007年以降、それまでのうどん製造から生パスタ製造へと業態を切り替えました。全国3,000軒の飲食店に生パスタを販売し、家庭用市場にも切り込もうとしています。

👑成長期待企業
👑兵庫県立地支援企業

五つ星ホテルや有名レストランでも使用される生パスタ



定番商品から季節限定商品など40種類以上の生パスタを製造

うどん専門メーカーとして100年近く歴史を刻んできた同社が、うどん事業の厳しい先行きを見越し、生パスタ事業に大きくかじを切ったのは2007年のこと。うどんに代わる事業を模索する中でたどりついたのが生パスタでした。「うどんやそば、ラーメンは生麺

が主流なのになぜパスタは乾麺が主流なのか？という疑問を抱き100年以上の麺づくりのノウハウを活かせば本当においしい生パスタを提供できるのではと考えた」と5代目社長の出雲文人さんは振り返ります。

試作を500回以上繰り返して完成した生パスタは、小麦本来の風味が豊かでしっかりとしたコシと弾力が特徴。

また、生パスタを販売するだけでなくラボと呼ばれる社内のキッチンスタジオで調理講習会を実施したりそれぞれの生パスタに合ったレシピを提供したりと繁盛サポートも充実しています。そうした取り組みが評価され今や販売先は全国に3,000軒にのぼり、大手ファミリーレストランや星付きホテルなどでも使用されています。

生パスタをご家庭でも手軽に美味しく

近年はプロ向けの生パスタにとどまらず、ご家庭でも調理しやすい一般消費者向けのパスタやソースなどの開発にも注力しています。「日本のパスタ市場はまだ未成熟なので生パスタの可能性はこれから」と出雲さん。「淡路島から日本のパスタ文化に革命を起こす」と意気込んでいます。



レストランだけでなく
ご家庭でもおいしい生パスタを

企業データ

■設立(創業)/1968年
(創業1909年)
■資本金/1,500万円

■売上高/8億2,000万円(2022年3月期)
■従業員数/58名

■平均年齢/37.4歳

いとうでんき

伊東電機(株)

加西市朝妻町1146-2 ☎0790-47-1225



公式サイト

物流センターや工場でモノを正確に、迅速に運び、仕分けるための駆動源であるモーターローラを1975年に世界で初めて開発した伊東電機。国内シェア70%、世界シェア50%を誇ります。

- ★平成28年度 ひょうごオンラインワン企業(令和3年度再認定)
- ★平成30年度 ひょうごNo.1ものづくり大賞 大賞
- ★令和3年度 ひょうごNo.1ものづくり大賞 選考委員会特別賞
- ★兵庫県立地支援企業

モノを運ぶ現場の脱炭素化、DXにも貢献



世界シェアNO.1

Eコマースの隆盛に伴って日々忙しく稼働する物流センター。そこで大量かつ多様なモノの流れを支えているのが同社の「パワー

モラー」です。搬送装置に組み込まれたパワーモラーにはモータと減速ギアが内蔵され、回転しながら上に載ったモノを正確に迅速に目的の場所へ運びます。

近年は、ソーラーバッテリーで駆動できるようにしたり、遠隔でも細かな動きを制御可能にすることで、物流現場や工場の脱炭素化やDX(デジタルトランスフォーメーション)にも貢献。2020年度には経済産業省からグローバルニッチトップ企業にも選ばれ、今後は欧米、アジア市場をさらに開拓していこうとしています。

「何でも自分たちで作る」チャレンジ精神

搬送技術のノウハウを生かした新事業が、最小栽培空間のセルごとに光、空調を管理し、効率的に出荷できる次世代型植物工場です。これらの旺盛な開発力を支えているのが「何でも自分たちで作る」というチャレンジ精神。生野高原の、木工所や鉄工所が併設されたイノベーション創造拠点にあるログハウスや野球グラウンドも社員の手づくりによるもの。「部署をまたがって参加する社員どうしの絆も深まり、風通しの良い社風の醸成にもつながっている」とのこと。入社5年間は奨学金の3分の2を、30歳までは3分の1を負担する返済支援制度を設けるなど新卒社員を受け入

れるための制度も充実しています。



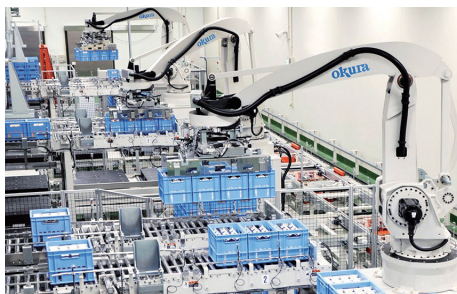
パワーモラー

企業データ		
■設立(創業)/1965年 (創業1946年)	■売上高/219億円(2022年3月期) [連結]	■平均年齢/35.0歳
■資本金/9,000万円	■従業員数/380名	



ネット通販で今日注文した品物がその日には届く。こうした迅速で正確なものの流れを支えているのが物流倉庫や製品工場で使われるコンベヤや仕分け装置などオークラ輸送機の製品群です。

迅速で正確なモノの流れを支える



乳業メーカーで活躍するロボットパレタイザ

1955年に日本初の量産型コンベヤを開発したのを皮切りに、パレット（荷物を載せる

台）へ荷物を積む装置、行き先別に荷物を仕分ける装置などを業界に先駆けて開発し、工場や倉庫内の荷役作業の自動化に貢献してきました。工場や倉庫には、こうしたさまざまな物流専用機械が組み合わせられて荷物を迅速かつ正確に出し入れしています。「長年の蓄積を生かし、ユーザーの目的に合わせて最適な物流システムを提案できるエンジニアリング力が最大の強み」。同社の機器、システムは大手通販会社、食品メーカーなどで採用されており、私たちの生活を見えないところで支えています。

風通しの良い風土を大切に

2022年に創業95周年を迎えました。21年に竣工した本社ビルのオフィスフロアはゆったりと席が配置され、部署間の仕切りがないオープンなつくりになっています。集中・対話・リラックスなど働き方に応じたスペースが社員同士の良好なコミュニケーションを促しています。同時に服装も自由化し、社内には明るい雰囲気が漂っています。「こうした風通しの良い風土によりお互いが当たり前のように声かけをすることでケガや事故のない現場、そして柔軟で新たなアイデアを創出する風土の醸成につながっている」。創業100周年を目前にさらに進化を遂げようとしています。



曲線で「流れ」を表現したデザインの本社ビル

企業データ

■設立（創業）／創業1927年
■資本金／13億3,056万円

■売上高／355億7,000万円（2022年3月期）
■従業員数／603名

■平均年齢／42.6歳

おおちのうえん

(株)大地農園

公式サイト

丹波市山南町さら通3 山南町工業団地内 ☎0795-77-2311

ドライフラワー、プリザーブドフラワーを総合的に扱うメーカーとしては世界ナンバーワンの大地農園。花や緑をきれいなまま長持ちさせる技術でさらなる飛躍を目指しています。

👑令和2年度 ひょうごオンリーワン企業
👑平成27年度 兵庫県環境にやさしい事業者賞

花を加工しあらゆる場に生かす



お客様に感動を与えるプリザーブドフラワー

乾燥させて水分を抜き自然な風合いに加工するドライフラワー、本物の植物の水分を特殊な液体と置き換えることで見栄え、質感を

保ちながら長持ちできるように加工されたプリザーブドフラワー。大地農園はこのどちらにおいても高い技術を持ち、かつ多くの花の種類を扱うという世界でも類を見ないメーカーです。

バラ、アジサイ、カスミソウなどの花は世界の栽培適地から仕入れ、丹波市の工場で加工した後、国内外に出荷されていきます。現在、新たに注力しているのがオフィスやホテルの壁面を飾るプリザーブドフラワー。「植物は人に安らぎをもたらす。その効果を実感してもらえよう植物の持つ香りも含めて伝えていきたい」と社長の大地但さんは話します。

欧米に拠点、海外展開さらに

植物は生き物。かつ作業は人間の手に頼るところが多くなります。「それだけに働く社員がいかに気持ちよく、やる気を持って働けるかが大事」と、多様な働き方を促す制度を設ける一方、人との関係性、問題解決能力、技術の3要素で目標を設けたうえで一人ひとりの社員を評価し、給与にも反映するようにしています。

折からのコロナ禍でSNSを活用した発信を強化したところ、国内外からの反響が増しました。近くアメリカ、ヨーロッパそれぞれに物流拠点を整備し、世界展開をさらに強

化していこうとしています。



全社風景

企業データ

■設立(創業)/1981年
(創業1955年)
■資本金/5,000万円

■売上高/30億円(2022年5月期)
■従業員数/180名

■平均年齢/45.0歳



クローゼットや手洗い・洗面カウンターをはじめとする住宅設備メーカー。2020年以降を「オーリス3.0」のステージと位置づけ、人に投資をしながら新たな事業機会を開拓していこうとしています。

🏆平成28年度 兵庫県環境にやさしい事業者賞

「人の幸せ」をテーマに提案



ce-fitショールーム

開閉時の指詰めを防止する折れ戸、簡単に部屋の模様替えができる可動間仕切り収納など多くの独自製品を開発してきました。大手ハ

ウスメーカー向けOEM（他社ブランド製品の製造）が主力事業ですが「厳しい要求に応える技術、設備を持ちながら、こちらからも提案することで、大手得意先様との関係を築いてきた」と社長の彦坂充宏さん。テーマは「人の幸せ」。例えば、家事動線を考え洗面脱衣室に収納場所を設けることで無駄な時間（歩数）を減らすことができる新たな暮らし方の提案も行っています。

環境への取り組みにも熱心で、他社では使った後に残った端材を再利用するところ、そもそも端材を出さないよう材料の使い方を設計するところから取り組むなど徹底した思考は他社の追随を許しません。

一人ひとりの社員の成長を応援

20代半ばで課長に、30代で執行役員に昇進する社員も多く、若い時から責任と仕事が任されることも同社の特長です。コロナ禍を受け、デジタルツールを活用した社内コミュニケーションを導入し若手社員の意見を反映させやすい仕組みもつくっています。

2020年には人、組織に重点的に投資し、新規事業の育成に注力していくことを宣言。「働き始めてからもっと学生時代に勉強しておけばと思うものですが、当社は資格取得や勉強したいことがあれば応援もする。会社に

入ってからの方がより勉強したい方向性が見え、追求できる。どんどんと成長してほしい」と話しています。



生産設備

企業データ

■設立（創業）／1946年
■資本金／8,000万円

■売上高／36億6,914万円（2022年3月期）
■従業員数／153名

■平均年齢／44.3歳

おとわでんきこうぎょう

音羽電機工業(株)

尼崎市潮江5-6-20 ☎06-6429-3541



公式サイト

強大な電気エネルギーを放つ雷から電子インフラを守る避雷器を製造・販売する雷対策の専門メーカー。時代の変化をにらみながら、ニーズに沿った製品の開発も見据えています。

🏆平成28年度 ひょうごオンラインワン企業 (令和3年度再認定)

雷から社会を守る専門メーカー



雷テクノロジーセンター外観

雷の発生数は気候変動に伴って年々増加傾向にあります。落雷後、雷の異常な電気は電源線や通信線などを伝わり、建物内にある電

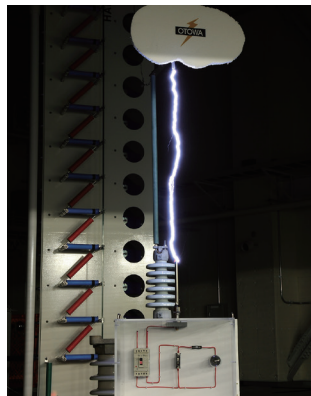
子機器類に影響を及ぼし、設備や装置などに誤作動や異常をきたす原因となります。同社はこうした雷から社会を守るための避雷器のメーカーとして国内トップクラスのシェアを誇ります。

「以前は主にインフラ設備向けが主なお客様でしたが、近年ではさまざまな設備が電子化され、雷によるリスクが大きい工場やデータセンターなど、産業民生分野でのニーズが大きくなってきている。電子化された設備では落雷リスクが増大しているとも言えます」と吉田厚専務取締役。アフリカやアジアをはじめ海外市場も積極的に開拓し始めています。

若い力に委ねブランド力を向上

同社では近年、若い社員の活躍も目立っています。「経営層から若い社員まで皆が気さくで、風通しの良い会社です」。会社のホームページやツイッター、フェイスブックを活用した会社の情報発信についても若い社員を主体としたプロジェクトチームに委ね、「自由な発想で雷の専門メーカーである当社のブランド力の向上に貢献してくれています」と話します。「IoT化、リモートワークの増大などコロナ禍に伴い変化が進む中で社会を雷からどう守れるか柔軟に提案していかなければなりません。これからも若い人たちの発想を

楽しみにしています」と期待を込めて語ります。



高電圧試験設備の放電実験の様子

企業データ

■設立(創業)/1946年
■資本金/8,190万円

■売上高/121億円(2022年3月期)
[グループ連結]
■従業員数/280名

■平均年齢/44.3歳



コンピュータ式量製造システムや自動壁紙糊付機で培った技術を生かし、各種自動化・省力化機器へと事業を展開。近年ではリチウムイオン電池製造工程の一部の生産設備も受注・開発するなどユーザーニーズをくみ取り、オリジナル製品を創出し続けています。

🏆 令和元年度 ひょうごオンリーワン企業

🏆 令和2年度 ひょうご No.1ものづくり大賞 製品・部材部門賞

特許出願数は700超



令和4年4月完成 神岡新工場

1948年に量製造機器メーカーとして創業。現在は量事業のほか、全国シェア9割以上を占める自動壁紙糊付機を柱とするインテリア事業、特殊機能量商品などのコンシューマ事

業、大手牛丼チェーンでも採用されている味噌汁ディスペンサーなどの食品機器事業、リチウムイオン電池製造工程の一部の生産設備などの産業機器事業まで幅広く展開しています。「常にユーザーのニーズに合わせ製品開発を続けてきた」と取締役総合企画室長の頃安憲司さん。700を超える特許出願数（2021年6月末時点）がそれを物語っています。

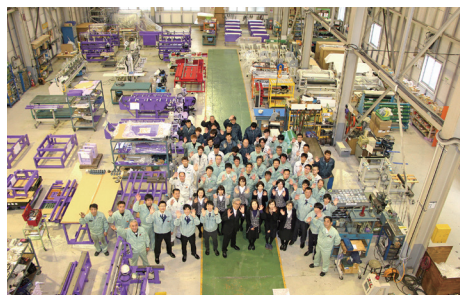
18年9月には東証JASDAQスタンダード市場（現：スタンダード市場）に上場。上場で得た資金の一部は神岡工場の製造能力増強、生産効率化に投資し、22年末には拡張工事が完成する予定です。

自分で考える習慣を徹底

入社6年目の田中彩加さんは採用業務などのほか月刊社内報の編集を担当しています。「入社時から、自分だったらどうするかを考えるように上司から教わってきた」と言います。社内報では自ら提案して若手社員をインタビューするコーナーも設けており「やりがいを感じる」と話します。

自ら考える習慣は新事業開発にも生かされています。各部門の社員によって結成されたプロジェクトチームから生まれたアイデアが21年4月に事業化されました。葬祭用特殊量を製造している縁から遠隔で葬儀に参列で

き、花やメッセージも贈れるオンライン葬儀システムで、ものづくり以外のサービス業にも新たな一歩を踏み出したところです。



読売テレビBEAT～時代の鼓動～撮影の一場面

企業データ

■設立（創業）／1948年

■資本金／6億3,111万円

■売上高／91億6,942万円（2021年9月期）

（連結）

■従業員数／299名

■平均年齢／42.9歳

きんぐじょうぞう

キング醸造(株)

加古郡稲美町蛸草321 ☎079-495-0010



公式サイト

みりん風調味料、本みりん、清酒など多様な醸造商品の製造を手がけ、料理酒ではシェアNo.1を誇る。大手メーカーが競合にひしめく中、時代のニーズを捉えた商品で存在感を発揮しています。

地元産、健康…、ひと手間かけた商品を開発



工場建屋の一つ

料理に甘みや照りを加え、和食に欠かせない調味料として定着しているみりん。本みりんはアルコール度数が13～15度と高いため酒類扱いになり、酒販免許が限られていた

時代には販売できる店が限られていました。1960年代に、当時台頭しつつあったスーパーでも販売できるよう度数を1%以下に抑えたみりん風調味料をいち早く開発し、ヒット商品に育てました。

「競合メーカーには大手企業が多く、同じような商品を作っているのは生き残れません。時代を先読みし、ひと手間かけた商品づくりを心がけています」と大西浩介社長。近年も本社を置く稲美町産米を使ったみりんや、健康志向に応えたみりんと同じ使い方ができる調味料「甘みとコクの糖質ゼロ」を商品化し、好評を得ています。

和食人気追い風に、世界47カ国で商品を販売

「和食」がユネスコの無形文化遺産に認定されたことにより、人気の世界で高まっており、それにつれてみりんの認知も浸透。現在では世界47カ国で販売されています。また、ワイン酵母を使うことで華やかな香りをつけた日本酒の売上も海外で好調です。

コロナ禍で自炊の機会が増えたタイミングを捉え、ユーザーによるコミュニティ「日の出自炊部」を発足させました。のべ1,200人が参加し、同社の調味料を使った料理をインスタグラムに投稿してもらうなどしてファンを増やしています。「今後は、ライフスタイ

ルの変化をとらえ、外食や中食（スーパーで売られるお惣菜）などにも広く使ってもらえるようアピールしていきたい」と話しています。



主力商品一覧

企業データ

■設立（創業）／1900年
■資本金／9,940万円

■売上高／123億円（2021年9月期）
■従業員数／245名

■平均年齢／39.0歳



桑村繊維は、北播磨地域に集積する播州織業界の中で早くからオリジナルの織物を企画提案しており、近年は国内だけでなく海外市場の開拓にも注力しています。

各部門で企画し、独自商品を提案



当社展示会風景

江戸時代から当地に根付く播州織の特徴は、糸を織り上げる前に染める先染めの製法によって織物が作られることで、織物に豊か

な色合いと風合いを与え、色落ちしにくいなどの利点を持っています。その播州織のリーディングカンパニーとして業界を牽引し続けているのが桑村繊維です。

同社の事業部門は素材や顧客ごとに10に分かれ、各部門に企画担当者、デザイナーを配置し、レディースやメンズのファッション衣料向けを主体に独自に開発した生地を顧客に提案しています。「入社3年目ほどで企画やデザインを任せており、各部門で競い合いながら開発できる環境がやりがいにつながっているようです」と総務部長の飛田幸伯さん。

女性活躍の場、さらに

国内の消費が頭打ちになっていることから近年注力しているのが輸出です。ニューヨーク、パリ、上海などの展示会に積極的に出展を続けており、「メイドインジャパンに対する品質への評価が高い」ことから現在は売り上げに占める輸出比率は25%にまで高まっています。

最近では各部門でインスタグラムを活用した商品の情報発信も始めており、新たな顧客開拓にもつながっているとのこと。「もっと女性社員に営業にも出てもらい生の声を商品開発に生かしてもらうなど、女性活躍の場も広げていきたい」と話し、時代に合わせた方

法で活路を開こうとしています。



打ち合わせ風景

企業データ

■設立(創業)/1950年

(創業1928年)

■資本金/2億1,000万円

■売上高/61億2,700万円(2021年9月期)

■従業員数/118名

■平均年齢/44.5歳

けんみんしょくひん

ケンミン食品(株)

神戸市中央区海岸通5丁目1番1号 ☎078-366-3000



公式サイト

国内のビーフン市場で約50%のシェアを占める。食物アレルギーの原因となる小麦を使わないグルテンフリーのラーメン、焼きそばも商品化し、安全でおいしいお米のめんの普及に努めています。

🏆令和元年度 ひょうごオンラインワン企業

グルテンフリーめんで、おいしい、健康、安心を提供



ヴィッセル神戸 協賛試合イベント 集合写真

戦時中、東南アジアや台湾などに赴いた人たちが日本に戻ってきた後、ビーフンの味を懐かしがる声に応え、台湾出身の創業者高村

健民が神戸でビーフンの製造を1950年に始めました。簡単に調理できるよう、1960年に商品化した味付きの「ケンミン焼ビーフン」が大ヒット。その後、原料のインディカ米の輸入規制に伴い、産地のタイに工場を作りビーフンメーカーとして不動の地位を築きます。

世界で食される麺の多くには小麦が使われますが、小麦アレルギーの人は食べられません。そこでビーフンを始め、米粉を使ったグルテンフリーのパスタ、ラーメン、焼きそばなどを次々に商品化。おいしい、健康、安心に寄与できる食品で社会に貢献しています。

あいさつ運動で育まれるチームワーク

SNSによる情報発信に力を入れ、公式ツイッターは社長も発信。また、インスタグラムは女性社員が担当し、日替わりでビーフンを使ったメニューを紹介し、ファンを増やしています。社員数は200人強で、全員の顔と名前が一致する適度な規模です。冷凍食品を製造する丹波篠山の篠山工場ではハッピーマイルと名付けたあいさつ運動が行われ、活発なコミュニケーションとチームワークが育まれる中で、高品質の商品生産につなげていきます。

国内ではビーフンが年間1億食消費されて

いますが、同社ではこれを2億食に増やす目標を掲げ、ラーメンやパスタに肩を並べる食文化にしようとしています。



篠山工場外観

企業データ

■設立(創業)/1950年
■資本金/9,200万円

■売上高/82億円(2022年2月期)
■従業員数/219名

■平均年齢/41.0歳

こざそうろう

(株)御座候

姫路市阿保甲611-1 ☎079-282-2311



公式サイト

赤あん・白あんの入った回転焼「御座候」を全国78店舗で実演販売しています。創業から73年。温かみのある手仕事の大切さを受け継ぎ、今日も愚直に伝え続けています。

本物の味をぶれることなく、手渡しで提供する



一個一個、丁寧に心を込めて焼き上げます

「本物の味をぶれることなく、手渡しで提供する」。創業来変わらず御座候作りに込められてきた思いです。商品の命ともいえるアンコは、北海道十勝産の小豆を厳しい基準で

選別し、年度ごとに異なる小豆の特性などに目配りしながら、その高い品質を生かす釜・炊き方で風味豊かに作られます。各店では経験を積んだ職人が丁寧に焼き上げ、焼きたてを販売員が包装紙に手際よく包んで手渡しします。

手仕事の豊かさと温かみを伝えようと、2022年4月には姫路の書写山の麓に初のカフェ業態となる手仕事喫茶「御座候 書写山麓店」をオープン。小豆・手苺の風味を生かしたケーキや、赤あん・白あんに合うコーヒーや煎茶を、手仕事の職人が作ったカップや皿で提供し、手仕事の温かさとともに伝えていきます。

女性の職人も誕生し、現在は10人に

350人いる社員のうち約200人が職人として働いている同社。本社にはお客様満足向上のための技能を磨き、学び合う場として「実演技能研究所」があり、お互い学び、気付きを得る場所になっています。また年に1回、全国で予選を勝ち抜いた職人がその技を競う「焼成技能大会」が開かれ、No.1を決定しています。3年前には女性の職人も誕生し、現在では10人にまで増えているとのこと。採用・初期訓練を担当する同社の山之内良洋さんは「全国各地で愛されているなじみのお菓



手焼きの温もりを届けます

子。一見単純だが奥深い手仕事の温かみを未来の世代につなぎ、100年企業を目指したい」と話しています。

企業データ

■設立(創業)/1959年
(創業1950年)
■資本金/8,527万円

■売上高/56億円(2022年9月期)
■従業員数/520名

■平均年齢/39.3歳

せいわこうぎょうしょ

(株)精和工業所

伊丹市北本町3丁目105番地 ☎072-782-0281



公式サイト

温水タンクやリチウムイオン電池ケースなどステンレス素材の溶接技術で強みを持つ精和工業所。働く人、地域の人が誇れる企業を目指して、自社商品の開発にも力を注いでいます。

薄いステンレスの溶接技術に強み

ステンレスの溶接風景

厚さ1mm以下の薄いステンレスをつなぎ合わせる溶接加工技術を得意とし、給湯器の温

水タンクやコンビニエンスストアのコーヒーマシン向け熱湯タンク、リチウムイオン電池ケースなどを製造しています。できあがった製品は温度、圧力、水質やその変化に耐えられる性能や精度が求められるため、溶接時の電流量、酸素遮断、専用器具開発など、ノウハウを組み合わせながら最適な条件で加工を行っています。

顧客からの厳しい要求に応えるべく独自の検定試験による資格制度を設けているのも特長の一つ。製造現場で働く女性パート従業員が溶接加工に興味を持って資格取得に挑み、正社員に登用された事例もあるそうです。

消毒液ディスペンサーなど自社製品も強化

「地域の人に誇りに思ってもらえる会社になることが目標」と話す原克彦社長。そこで現在力を入れているのが自社ブランド商品の開発です。すでに地域の酒造会社の要望に合わせて開発したホットビールサーバーを商品化。コロナ禍に合わせて2020年に商品化した、消毒液ディスペンサーは、来客の多い施設でも円滑に対応できるよう大容量で瞬時に噴射できる構造とし、地元の伊丹市などへ寄贈。現在、多くの病院や大学などで採用が進んでいます。「ここで働いていてよかった」と思える会社を目指し、社員が一体感を持って

働ける風土をつくって
いきたい」と話して
います。



自社商品
大容量消毒液ディスペンサー

企業データ

■設立（創業）／1962年
■資本金／2,400万円

■売上高／39億7,500万円（2021年9月期）
■従業員数／233名

■平均年齢／43.0歳



「新しい幸せを、わかつこと。」をビジョンに掲げ、給湯器のリーディングメーカーとして日本のお風呂文化を支えてきたノーリツには「人を大事にする文化」が根付いています。

🏡くるみん認定企業

常に新製品を他社に先駆けて開発



明石本社工場敷地内には工場だけでなく開発の施設もあります

ガス・石油給湯機器とガスコンロの製造を主力事業として展開し、日常生活に欠かせないお風呂と厨房を縁の下で支えるノーリツ。

失敗をしても、挑戦をたたえる

同社を支えるのが「たとえ失敗をしたとしても次どうするかを大事にする社風」と人事企画室の藤田純子さんは言います。リーダー職を目指す若手社員向けには広い視野を養うため社外人材と交わる研修等の学習機会を設けています。「長く、安心して働き続けられるように」とテレワークの推進やコアタイムのないフレックスタイム制の導入、明石本社工場における社内保育園整備、健康経営の推進など「人を大事にする文化」も根付く同社。「常識にとらわれず未来を切り開くことで

お湯張り完了時に流れるメロディーと「お風呂が沸きました」のなじみの音声にピンとくればそれは「ノーリツ製」です。

創業来常に利便性、安全性、省エネを追求した商品を先駆けて開発し、「新製品のノーリツ」として高い評価を得ており、近年も浴室事故を防ぐ「見まもり機能」、衛生意識の高まりから「UV除菌機能搭載」の給湯器などが加わっています。国内向けには環境問題の観点から低炭素・脱炭素社会に向けた商品開発に注力し、海外向けについてはすでに展開している中国、米国、豪州に加え成長市場である東南アジア向けを強化しつつあります。

きる人を」と藤田さんは求める人物像を語っています。



給湯器の生産ライン

企業データ

■設立（創業）／1951年
■資本金／201億700万円

■売上高／1,781億4,298万円（2021年12月期）
■従業員数／2,190名

■平均年齢／43.0歳

はーどぐらすこうぎょう

ハードグラス工業(株)

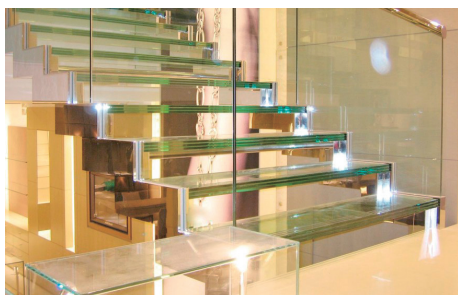
伊丹市北伊丹7-79 ☎072-784-3671



公式サイト

ハードグラス工業は、強化ガラスドアで国内7割のシェアを持っています。破損しにくい二重の合わせガラス、断熱性に優れる複層ガラスなど多彩なガラス製品をつくっています。

あらゆる場所のガラスドアに



合わせガラス施工例

700～800℃の高温でガラスを熱したのち、風を送りつけて急冷することで表面が丈

夫なガラスが出来上がります。これが強化ガラスです。同社が製造した強化ガラスドアはグランフロント大阪や六本木ヒルズ、銀座シックス、世界の空港や地下鉄など、私たちが日々目にする場所の多くで使われており、専務の下岡正典さんは「ここにもあそこにもハードグラス工業のガラスドアがあると実感できることが社員の何よりのモチベーションになっている」と言います。1970年の創業時から製造している強化ガラスドアでは周囲の枠も含め一貫生産ができることを強みに納期、価格、品質面で他社を圧倒しています。

これからもガラスで貢献

近年では、自動ドアのガラスに指を巻き込まれないよう防護柵を設けるなど安全性を高めたり、破損しないようガラスを二重にした合わせガラスと組み合わせたり、とこれまでに培ったノウハウをもとにした多彩な提案力も高い評価を得ています。

メリハリをつけた働き方を大切にし、残業の削減、年間休日の増加にも積極的に取り組んでいる同社。2021年には、営業部門に初めて新卒女性社員が配属されるなど、女性社員の活躍の場も広がっています。「海外と比べて、日本では建築物に使われるガラスの割合が少なく、当社がガラスで貢献できる余

地はまだまだある」と下岡さん。さらに提案力に磨きをかけ、さらにハードグラスの存在感を高めていこうとしています。



本社外観

企業データ

■設立(創業)/1970年
■資本金/2億120万円

■売上高/41億1,500万円(2021年3月期)
■従業員数/239名

■平均年齢/47.9歳



受託先の依頼をもとに製品の設計から製造までを行う化粧品ODMメーカー。90年近い化粧品製造の歴史で培った技術力と創意工夫を強みに多彩な化粧品を製造しています。

受託先の希望をふまえ化粧品を企画、製造



ミキサーをタッチパネルで操作し、化粧品を製造しています

受託先は百貨店やドラッグストア、バラエティショップなどの店頭販売のメーカーか

ら、通信販売のメーカーなど多彩です。どんな製品を売りたいのかをヒアリングをした上で企画、設計をし、研究開発を行ったうえで試作品づくりを繰り返し、販売に必要な薬事申請の手続きまで行って完成品として供給しています。提供する製品はスキンケア、ヘアケアからメイクアップまで網羅。時流をとらえた提案力と細かなニーズに応えられる技術力が問われる世界です。2022年には神戸、横浜両工場でSDGsの一環として環境の国際規格も取得し、環境負荷低減の取組にも注力しています。

Made in Japanのアジア進出を後押し

社員に浸透しているのが社にも掲げる「創意工夫」の精神です。難しい依頼に対する開発や、生産をより効率的に行うための改善なども「知恵を絞って最後まであきらめずにやり抜く姿勢が貫かれている」と経営企画部人事戦略課の泉さん。新卒入社した社員が今では海外工場の工場長になるなど、チャンスと働きやすい環境が整っています。

今後については「Made in Japanの化粧品に対する人気が高い中国をはじめとするアジア市場を見据え、受託先のアジアマーケット進出のサポートに注力するほか、国内向け

ではますます関心が高まっているエイジングケア（抗加齢）の提案力に磨きをかけていきたい」と先を見据えています。



西宮浜の工場には、およそ300人のスタッフが働いています

企業データ

■設立（創業）／1935年
■資本金／8,000万円

■売上高／121億7,800万円（2022年3月期）
■従業員数／370名

■平均年齢／37.2歳

ふじはつじょう

富士発條(株)

朝来市和田山町筒江165-51 ☎079-674-1600

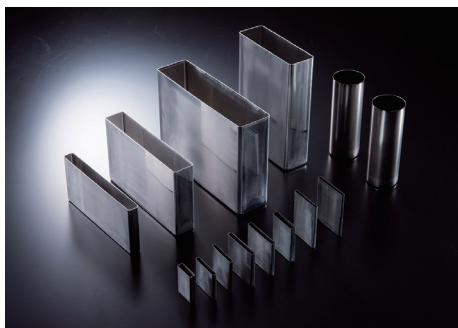


公式サイト

朝来市で、自動車向けリチウムイオン電池を安全に保護するアルミケースで70%以上のシェアを誇る富士発條。それは「従業員の“感動”を追求する」企業姿勢から生み出されています。

- 🏆 令和3年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 🏆 兵庫県立地支援企業
- 🏆 くるみん認定企業
- 🏆 えるばし認定企業

自動車向けリチウムイオン電池アルミケースで高シェア



アルミバッテリーケース

線ばねメーカーとして創業し、より付加価値の高い板ばねに参入する際に、基盤となる金型作りも自ら手掛けるようになりました。その後挑んだプレス加工では、精密な製缶加工技術に磨きをかけていきました。そして、携帯電話に使われるリチウムイオン電池を皮切りに電池のアルミケース事業に参入。1枚のアルミ板から高精度かつ高い歩留まりで加工できる能力は他の追随を許さず、国内自動車メーカー向けリチウムイオン電池ケースでは約7割のシェアを獲得。今後、さらなるEV（電気自動車）の普及が見込まれる中、ますます同社の活躍の場が広がろうとしています。

従業員の“感動”を追求する

「開発するのも、モノをつくるのも、サービスをするのも結局は人。従業員が気持ちよく働けてこそ良い仕事ができる」と、藤井啓社長。「従業員の感動を追求する」経営を標榜するの**ひょうご**もそうした思いの表れだ。「“満足”で終わらせず“感動”してもらえるほどのことを会社が先取りして取り組んでいくことが必要」と職場環境の改善に努め、製造現場でも女性社員が生き生きと働く姿が見られます。“天空の城”として知られる竹田城跡に近い豊かな自然環境に恵まれ、自然災害の少ない地勢に立地する同社。「オープンで風通

しの良い社風をさらに実現し、電池ケース事業を極めていきたい」とさらなる成長を見据えています。



新入社員フォローアップ研修

企業データ

- 設立（創業）／1959年
- 資本金／9,500万円

- 売上高／108億円（2022年3月期）
- 従業員数／602名

- 平均年齢／42.8歳



兵庫県内で15店舗のホームセンターを運営する。同業大手の画一的な店舗展開とは一線を画し、店ごとの地域特性、地域住民のニーズをふまえた品ぞろえ、サービスを実現しています。

地域の特性に合った店づくり



屋内緑化とアクアの融合

森林業の盛んな兵庫県穴栗市で生まれ育った安黒嘉宣社長。兵庫県中西部を中心に15ある店舗を通じて提案したいのは「花と緑に

あふれるローカルな暮らし」だと言います。それを象徴するように各店ではガーデニングのコーナーが特に充実しています。

地域の特性に合った店づくりをしているのも大きな特長です。阪神・淡路大震災後に outlet した神戸駒ヶ林店では、銭湯がつぶれて困っている人たちの声をもとに「一か八か」で温泉を掘り当て温浴施設をオープンしました。佐用店では5名以上から要望があれば、車で店まで送迎するサービスも実施。これからは「健康長寿の実現」と「屋内緑化」をテーマにサービスを強化していこうとしています。

顧客にも従業員にも「寄り添った」経営を実践

原則、その地域で生まれ育った人を採用しているのも「地域のことをよく知り、地域に愛着を持つ人に接客してほしい」との思いからだそう。入社後は仕事オンリーではなく一人の社会人として成長してほしいとの考えから、入社数年目の先輩社員をメンターに付けて相談に乗るほか、交流や研修の機会も多く設けています。そして安黒社長自ら全店を月に2回は巡回し、従業員との密なコミュニケーションを大切にしています。顧客にも従業員にも「寄り添った」経営でこれからも地域から愛される店づくりを目指しています。

「お客様の喜びがわが喜び」



プロも満足する豊富な品ぞろえ

企業データ

■設立(創業)/1981年
■資本金/3,000万円

■売上高/144億8,200万円(2021年2月期)
■従業員数/880名

■平均年齢/46.0歳

まつたにかがくこうぎょう

松谷化学工業(株)

伊丹市北伊丹5丁目3番地 ☎072-771-2019



公式サイト

2019年でん粉ひと筋、創業100年を迎えました。「従業員は家族」「何事も果敢にチャレンジ」のびのびした風土のもと、でん粉の可能性を広げ続けていきます。

でん粉の新たな可能性を引き出す



2022年新入社員

「でん粉」や「加工でん粉」は、「もちもち」「サクサク」とした食感や、「つや出し」＝「保性」などの品質向上に欠かせず、パンや即席めん、レトルト食品、お菓子、飲料など多くの食品に含まれています。創業時はでん粉卸として

スタート。洗濯糊^{のり}など工業用でん粉メーカーに転じ、高度成長期の頃から食品用でん粉へとシフトしました。現在は天然のでん粉を原料にした食物繊維で、おなかの調子を整えたり食後の血糖値の上昇を穏やかにする難消化性デキストリンが多くの特定保健用食品や機能性表示食品に採用されるなど、健康をキーワードに新たなでん粉利用価値を提案し、売上げを伸ばしています。また、15年以上にわたり香川大学と共同で「希少糖」の研究開発を行い、国内外から注目されています。でん粉の価値創出に挑み続ける同社の原動力は「こんなことに挑戦してみたいというテーマがあればそれを否定することなく、尊重してやらせてみる風土」と人事部長の寺園裕之さんは言います。

「従業員は家族」という言葉が浸透

「従業員は家族」という言葉が浸透しているのも同社ならではの。「働き方改革」という言葉が浸透するずっと前から定時退社が習慣化、有給休暇も当たり前のように取得しているとのこと。社内は野球、卓球などのサークルのほか、部署を超えて自主的にゴルフやテニスを楽しむ従業員が多く、そうした交流の中から何でも言いやすい風土が育ち、ひいては挑戦できる土壌が育まれているようです。



100周年記念旅行（2019秋・北海道）

企業データ

■設立（創業）／1919年
■資本金／1億円

■売上高／538億7,200万円（2021年11月期）
■従業員数／580名

■平均年齢／42.0歳



豊岡市上陰164-5 ☎0796-23-5201

豊岡市の地場産業である豊岡鞆^{たぬ}のメーカーの中では後発参入ながら、いち早く海外に進出し、自社ブランドも展開するなど先駆的なチャレンジを続け、現在はSDGsの取り組みにも注力しています。

OEMだけでなく4つの自社ブランドを展開



新商品の企画ミーティング

創業者が金物販売業から鞆メーカーに転身したのは1964年のこと。以降、大手鞆メーカーやアパレルメーカーからの受託製造（OEM）を手掛けてきました。93年には業

界他社に先駆けて中国で生産を始め、同業他社が海外進出に転じた2000年代初頭には国産品質を重視し、国内に工場を新設するなど常に先を見据え、新たな取組にチャレンジしてきました。

そして、機能美を追求した自社ブランド「アートフィアー」「アトリエNUU」を皮切りに2009年以降4つの自社ブランドを展開。一方でOEMでは、国内外のハイブランドからの受託製造を増やしています。今後は自社ブランドの海外展開にも本腰を入れていこうとしています。

廃棄漁網をリサイクルしたスクールリュックを商品化

数年前に「鞆創造により人生を豊かにする」というミッションを掲げ、共に働く人、得意先、仕入先など関わる人すべてをリスペクトする「仲間を大切に」というバリューを掲げました。

商品開発面の取り組みとしては海洋汚染の原因となる廃棄漁網をナイロンチップにして再生した生地を使って小学生用のスクールリュックとして商品化。そこには「子どもたちに海の環境を守る大切さを伝えたい」との思いが込められています。また、どのような技術や知識を身に付ければ評価につながるかを明確にした人事制度を2020年から導入。

すべての社員が向上心を持って働ける風土づくりを目指しています。

2021年には働きやすく、働きがいのある職場としてあんしんカンパニー*の表彰を受けています。



*あんしんカンパニー

女性にとって働きやすく、働きがいが高い水準に達している豊岡市内の事業者を表彰する制度です。

企業データ

■設立（創業）／1971年

■売上高／非公開

■平均年齢／42.0歳

■資本金／1,000万円

■従業員数／191名